

3年間保存

特定自主検査記録表

- ① 解体用つかみ具を装着する機械（ベースマシン）の記録表は、様式SR-EHC等を使用すること。
② 装着機械（ベースマシン）の情報を記入すること。

メーカー名	松本	管理 No.	ZA-002	(装着機械) メーカー名	マシ	使用者住所 氏名又は名称	中城村字久場1991番地 町田機工株式会社
型式	MT10	型式	SV08	機械管理者氏名	町田宗才	検査業者登録番号	第17号
製造 番号	20636	製造 番号	10350	検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名	沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株) 伊藤 隆		
性能	50	kg	検査 年月	R6年10月			
検査 実施場所	中城						
検査 年月日	R7年2月20日	検査者 氏名	平川善之				

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査 方法	検査結果		補修 内容	区分	No.	検査箇所	検査内容	検査 方法	検査結果		補修 内容
					良	不良							良	不良	
上下 フレーム 等	1	フレーム	亀裂、変形、摩耗、取付	目視 探傷器	✓			つかみ 部	8	制御弁	作動、油漏れ、取付	目視 操作	✓		
	2	取付けピン、 ブシュ	亀裂、変形、摩耗、 ピンシール損傷、取付	目視	✓				9	つかみアーム	亀裂、変形、摩耗	目視 スケール 探傷器	✓		
旋回 装置	3	旋回ベアリング、 旋回ギア	引っ掛かり、異音、 *ギヤ亀裂・摩耗、 シール損傷、取付	目視 操作 聴診 トルクレンチ					10	つかみリンク	亀裂、変形、摩耗、取付	目視 スケール 探傷器	✓		
	4	油圧モーター	油漏れ、異常振動、 異音・異常発熱	目視 操作 聴診 触診	✓				11	取付けピン、 ブシュ	亀裂、変形、摩耗、 ピンシール損傷、取付	目視	✓		
油圧 装置	5	回転継手	回転、油漏れ、異音	目視 操作 聴診				12	つかみ ポイント	脱落、がた、摩耗	目視 スケール	✓			
	6	配管（ホース 風、高圧パイプ）	亀裂、損傷、老化、ひび割れ、 ねじれ、油漏れ、取付	目視	✓			表示	13	表示板	損傷、取付	目視	✓		
	7	開閉シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、打撃 亀裂、曲がり、腐食、擦り傷	目視 操作 スケール タイマー	✓			操作	14	操作レバー等	ストローク、がた	目視 操作	✓		
								安全 車体	15	飛来物 防護設備	亀裂、変形、腐食、取付	目視 探傷器	✓		
								16							
								総合	17	総合テスト	作動、異常振動、異音、 異常発熱	目視 操作 聴診 触診	✓		

事業 要請 者等 への 等	次回特定自主検査実施年月	R8年2月
	ケイブとケーブルを交換します。	

措 置 内 容			
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容

備 考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、又異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容の項目に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。又補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。	記 号	交換 ×	分解 交換 ⊗	修理 △	調整 A	締付 T	清掃 C	給油 水 L	該当 なし -
--------	---	--------	---------	---------------	---------	---------	---------	---------	--------------	---------------

油圧ショベル(クローラ式)
特定自主検査記録表

3 年 間 保 存

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るための指針に基づく検査共用

証明番号 5 年 10 月 2 日 機式SR-EHC-01-E
証明番号 10-68 機章 No. 1377793

メーカー名	ヤンマー	管理 No.	F2-110	使用者住所	中城村字久場1991番地
型式	SV08-1C	使用氏名又は名称	町田機工株式会社		
製造番号	10350	稼働時間	29 h	機械管理者氏名	町田 宗才
性能	0.02 m³	検査業者登録番号	第 1 7 号		
検査実施場所	南部(党)	検査業者又は事業者住所・名称	沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株)		
検査年月日	R5 年 10 月 12 日	検査者氏名	平川 善之		

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	備考
エンジン	1	本体	a *始動性 かかり具合、異音、予熱燈・ヒーターの作動 b *回転の状態 アクセルの作動、回転具合 アイドリング回転(960 min ⁻¹)、無負荷最高回転(2100 min ⁻¹) c *排気の状態 排気色、排気音、排気管・マフラー等のガス漏れ d *エアクリナー ケースの亀裂・変形・緩み、エレメントの汚れ・損傷、油量 e *締付け シリンダーヘッド、マニホールドの取付 トルクレンチ f *弁すき間 弁すき間(吸最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm) g *圧縮圧力 圧縮圧力(MPa) 1 2 3 4 5 6 h *噴射圧力 噴射圧力(MPa) 1 2 3 4 5 6 i *噴霧状態 噴霧状態 良○ 不良× 1 2 3 4 5 6 j *過給器 異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ 目視、聴診 k *エンジンマウント ブラケットの亀裂・変形、緩み・脱落、防振ゴムの損傷・劣化 目視、レンチ等	目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 回転計 目視、操作、聴診 目視、聴診 目視、操作		

P2-110

備 考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は関指針のみの検査項目である。	記 号	交 換	分 解 交 換	修 理	調 整	締 付	清 掃	給 油 水	該 当 な し
			×	⊗	△	A	T	C	L	—